

臨床発達心理士会北海道支部ニューズレター 2016年度 No.2 (2016年12月28日)

発行：広報担当 林祐輔 服部菜摘

師走の候、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、今年度第2号のニューズレターをお送り致しますのでご確認ください。掲載されております2月開催予定の実践検討会も、大変興味深いお話を伺うことのできる機会となっておりますので、どうぞ奮ってご参加ください。

今年も残すところあとわずかとなり、何かとご多用のこととは思いますが、よいお年を迎えられますよう、心よりお祈り申し上げます。

◆◆◆◆◆2016年度 北海道支部 第3回研修会報告◆◆◆◆◆

日時：2016年12月11日(日曜日) 12:30～15:30

会場：北海道医療大学 札幌サテライトキャンパス 講義室A
(北海道札幌市中央区北4条西5-1 アスティ45 12階)

テーマ：自閉スペクトラム症の支援をめぐるこれからの方向性

講師：萩原拓先生(北海道教育大学)

司会：橋本竜作先生(北海道医療大学)

概要：今回、萩原先生をお招きし、適応機能と感覚に関して考え直す機会を設けました。研修会では適応機能の評価方法として Vineland-II 適応行動尺度の背景を学び、その構成について学びました。そして、知的機能が高くとも、適応機能が低い事例の話聞き、そのギャップをとらえる重要性を確認しました。また感覚プロファイルの各評価項目の意味や利用法について、事例の話を変えながら教えていただきました。実際に使用される検査用紙を眺めながら行われた研修は、今後の標準的な評価として普及が見込まれる方法を知るよい機会となりました。

(文責 橋本竜作)

◆◆◆◆◆2016年度 北海道支部 第4回研修会のご案内◆◆◆◆◆

※ 臨床発達心理士有資格者のみの参加となります(資格をお持ちでない方は参加できません)。

日時：2017年2月19日(日曜日) 12:30～15:30 (受付12:15～)

会場：北海道医療大学 札幌サテライトキャンパス 講義室 A

(北海道札幌市中央区北 4 条西 5-1 アスティ 45 12 階)

URL：<http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/~satellit/contents/access.html>

テーマ：実践検討会

講師：龍島秀広先生（北海道教育大学）

話題提供：石川和男先生（北広島市立大曲中学校）

「児童自立支援施設に導入された学校教育の実践事例」

司会：滝澤 真毅先生（帯広大谷短期大学）

資料代：500円（資料代）

概要：龍島先生に「非行の現在と発達障害」に関する講義をしていただき、それに関連した実践発表を支部会員が行います。近年、発達障害を背景に抱えていると思われるお子さんの非行などの問題に関連した知識を共有し、必要な支援について考える機会とします。

資格更新研修会参加記録ノート（A欄）の記載事項：

研修会参加にあたって、以下のことを参加記録ノートに記載してきてください

（研修会名）実践検討会

（年月日）2017 年 2 月 19 日（日曜日）

（ポイント数）1 ポイント

研修会参加に関する注意事項：

- 1) 士会会費未納者の参加は認められません。
- 2) バーコード付きIDカードと参加記録ノートの両方を持参してください。
- 3) バーコード付きIDカードで本人確認をしますので忘れずにご持参下さい。
- 4) 参加記録ノートを忘れた場合はポイントを発行できません。
- 5) 参加記録ノートを提出する際には、事前に研修会名、年月日、ポイント数などを記入しておいて下さい。
- 6) 参加記録ノートの記載不備（写真がない、登録番号がない等）がないようにして下さい。
- 7) SV（スーパーバイザー登録者）の参加記録ノートは、様式が異なるのでご注意下さい。
- 8) 研修会開始10分以上の遅刻、途中退席、早退の場合にはポイントを発行できません。
- 9) 更新受付終了後の人（参加記録ノートを本部に提出し、研修会当日に参加記録ノートが手元にない方）にはポイントは発行できません。